



東小だより

第11号

桐生市立東小学校

令和3年8月25日

やさしく かしこく たくましい 東っ子

(文責 鈴木 智行)

2学期(83日)のスタート ~成長を実感できる2学期に~

35日間の夏休みが終わり、2学期がスタートします。子どもたちは、新型コロナウイルス感染症の警戒度が3から4、まん延防止等重点措置を経て緊急事態宣言と対応が目まぐるしく変わる中で夏休みを過ごしましたが、本日、元気に登校する姿を目にして、教職員一同、安心したところです。

さて、2学期がスタートします。今日の始業式では子どもたちに2つの話をしました。

- ① 2学期は授業の中身が濃くなり、多くの行事もある。それぞれの活動の中で自分の成長を実感できる学期にしてほしい。
- ② 学校教育目標「かしこく」は単に勉強ができる人のことではない。「自分で気付き、学び、考え、行動できる人」が「かしこい人」である。授業や行事、その他の活動に対して、そのような姿勢で取り組んでほしい。

2学期は1学期の成果と課題を踏まえ、様々な活躍の場面を通して、「やればできるんだ」「頑張ってたかった」と子どもたちが自分自身を認められる機会を多くもてるように支援してまいりますので、引き続きご理解・ご協力をお願いいたします。

緊急事態宣言下における学校の対応等について(8/25~9/12)

御存じのとおり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大がこれまでにない速さで進んでいる中、群馬県は8月20日から9月12日までの間、緊急事態宣言の対象地域に指定されました。これに伴い、学校ではこの期間、より一層の感染症対策を講じた上で教育活動を実施していきますので、ご家庭におかれましても、マスクの着用、手洗いの徹底、健康観察票の正確な記入、三密の回避等、改めて感染防止に向けた取組の徹底・強化をお願いします。

また、別紙「緊急事態宣言中の学校の対応について」に具体的な対応を記載しましたので、併せてご確認をお願いします。

- ※ これまで市内の学校において、同居家族(親・きょうだい等)が発熱しているが児童を登校させてしまったケースが報告されています。感染拡大を防止する観点からも、同居家族を含めた健康観察を徹底していただくとともに、適切な対応をお願いします。